

TDKの「環境への取り組み」と「TDK歴史みらい館の概要」について

<TDKの環境への取り組み>

～ 創業 100 周年に向けて、地球環境の再生・保護に取り組む ～

TDK は創業 100 周年に向けた企業ビジョン「Vision2035」において、「かけがえのない地球環境の再生・保護と、豊かで安心できる暮らしの実現」に真正面から取り組むことで、社是「創造によって文化、産業に貢献する」を着実に果たしていくことを掲げています。

そして、2035 年における TDK の「あるべき姿」は、自然の循環を乱さない環境負荷で操業することであると考え、「ライフサイクル的視点での CO2 排出原単位を 2035 年までに半減」することを「TDK 環境ビジョン 2035」として策定しました。この環境ビジョンは、事業活動における環境負荷の最小化と自然環境の育成や、お客様と社会に貢献する製品の提供が企業の責務であるとの認識に基づくものです。また、地球規模での温室効果ガス排出源と吸収源の均衡達成による地球温暖化の抑制を目指した COP21 パリ協定にもならない、「あるべき姿」に到達するために行動する TDK の理想でもあります。

TDKグループ サステナビリティビジョン

“テクノロジーですべての人を幸福に”

TDKグループは、地球環境の再生・保護に努め、人権を尊重し、独自のコアテクノロジーとソリューションの提供により、すべての人々にとって持続可能で幸福な社会を実現する



<TDK歴史みらい館の概要>

TDKは1935年12月7日、秋田県由利郡平澤町（現にかほ市）の齋藤憲三によって、日本で発明された磁性材料フェライトの工業化を目的として創立されました。創業期より秋田県内に多くの生産拠点を構え、現在ではグローバルに事業展開を行い世界約30カ国に、約100カ所の生産拠点、グループ会社を有しております。

TDK歴史みらい館は、2005年に創業70周年記念事業として、TDKのあゆみをモノづくりの歴史から紹介する「TDK歴史館」として建設されたものです。そして80周年を期に、全面リニューアルを行い「TDK歴史みらい館（英文名称：TDK Museum）」として生まれ変わりました。

TDKの製品・技術がどのように社会の進化にお役にたってきたのか、さらにこれから訪れる未来社会に対してどのように関わり進化していくのかを、フェライトから始まるTDKの強みである「磁性」を主軸に、映像や体感デモを通して、わかりやすく楽しく体感していただける施設になっております。



（TDK歴史みらい館）

以 上